

「JUIDA SCHOOL AWARDS2025」スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名） IDS 池上ドローンスクール

・タイトル

ドローンによる地域社会及び防災支援の推進

・応募内容要旨

当スクールは、地域におけるドローンの普及を促進し、自治体や消防機関と連携して災害時の迅速な情報収集と支援活動を可能にする体制づくりを目指しています。空からの視点を活かした防災力の強化と、住民の安全確保に貢献する新たな地域防災モデルの構築に取り組んでいます。

・アピールポイント

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

独自性

行政、教育委員会、地域出張所、消防などと密接に連携し、年 4 回の地域イベントに参加。実物のドローンを展示し、地域住民に体験してもらうことで認知度向上を図っています。さらに、小学校の夏休み体験教室や中学校の職場体験を通じて、継続的な教育活動を展開しています。

先進性

日本は地震などの自然災害が多く、予測困難な状況に備える必要があります。若年層にドローンの災害活用を啓発し、今後は、町内会や自治会で操縦者を育成することで、地域の防災力向上を目指しています。

創意工夫

自動車教習所が地域の安全運転センターとして機能するように、ドローンスクールも地域に根差した存在として社会貢献活動を推進。段階的に活動の幅を広げ、地域に必要とされる教育機関を目指しています。

受講者視点

地域イベントでの操縦体験を通じて、小学生や中学生が楽しく学べる機会を提供。将来的にドローンが社会に広く認知されることを見据え、子どもたちの関心と理解を育んでいます。

安全教育の視点

航空法などの法令は一般生活では触れる機会が少ないため、体験会を通じて規則やルールの重要性を伝えています。見よう見まねではなく、安全かつ適切な運用を促す教育を重視し、安心してドローンを活用できる社会づくりに貢献します。



毎年、地元の東京都大田区とドローン災害協定を締結している一環で、水防訓練に参加しています。



2025年7月に東京消防庁大森消防署とドローン災害協定締結

IDS池上ドローンスクール



大森東出張所を中心に、近隣地域5つの町会の集いに出展。
(毎年10月実施)

毎年秋に大田区主催のOOTAフェスタに出展。
(毎年11月実施)



小学校でドローン講習会を実施。(開催は不定期)



毎年、大田区の中学校の職場体験で講義を行う
(毎年7,9,10月実施)



ドローン講習で利用
させてもらっている
体育館で小学生向け
の操縦体験会を実施。

2025年の夏休みに小学校の
ワクワクスクールでワーク
ショップを実施

受講者にはスクール特製の
認定証を発行し、お渡しし
ました。



IDS池上ドローンスクール